

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年8月13日

気温は平年より数度低い一週間となった。この週も殆どの地区で全く降水を記録しなかった。

冬小麦は85%（昨年同期：76%、平年：71%）、春小麦は56%（昨年同期：50%）が収穫された。冬小麦の収穫は極めて早い進捗を示している。

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac（6月1日：47.0bu/ac）、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単収25.0bu/ac（7月1日：27.0bu/ac、昨年：30.0bu/ac）、収穫面積予想：155,000エーカー（昨年：175,000エーカー）、収穫量：3,875,000ブッシェル（昨年：5,250,000ブッシェル）となっている。

2002年8月11日現在：

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	45	36	19	0
Subsoil (%)	46	35	19	0

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat Harvested (%)	85	70	76	71
Spring wheat Harvested (%)	56	50	64	na

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2002年産のソフト・ホワイト小麦の品質は、昨年より水分は低く8.2~8.98%、蛋白質は11.8%前後であり、容積重は均59.21bs/bu程度である。粒のサイズは多少小さく、狭雑物は1.36%前後と多少高めで、萎縮粒も2001年産より多い傾向である。粒の灰分も多少高めの1.355%と報告されている。